

地震・津波・風水害への備え… 私の“防災チェック”

問い合わせ 防災安全課 ☎38-2093/FAX38-2157

チェック！ 日ごろの災害対策・避難準備を点検

《非常用食糧等は3日分の備蓄を！》

飲料水・食料(乾パンやアルファ米・缶詰など)・救急医療品(常備薬)・携帯ラジオ・懐中電灯・予備の乾電池・貴重品・生活必需品 など
※持ち出しのポイント

リュックは1人1個を準備。重さは、大人・男性15kg、女性10kgが目安。生理用品や紙おむつ、粉ミルクなど、家庭の状況に合わせて準備。入れ歯や眼鏡、常備薬などは意外に忘れやすいので注意しましょう。食料品や医薬品は期限に注意し、定期的に入れ替えをしましょう。

《家具等の転倒防止対策を！》

- 本棚 本が飛び出さないように、伸縮性のコードやベルトを取り付ける
 - 食器棚 棚板に滑りにくい材質のシートやふきんを敷き、食器が飛び出さないよう棧を付ける。観音開きの扉には鍵付き金具を取り付け、ガラス面には飛散防止フィルムを貼る
 - テレビ 耐震マットを底に貼り付け、低い台などにしっかり固定
- ※家具の転倒防止のポイント
本棚や食器棚は、重いものを低い所に入れて重心を下げておく。家具の前下に細長いシートや板を挟み、重心を後ろに移しておく。家具の上にも滑らないように荷物を置き、天井とのすき間を埋めておく。寝室は、普段寝ている場所に家具の転倒や落下物が無いかをチェック。

《緊急地震速報を聞いたら》

全国に配置した地震計が最大震度5弱以上と推定される場合は、強い揺れの始まる数秒前ないし数十秒前に速報がテレビなどで発表されます。速報を聞いた場合は、あわてずにまず身の安全を確保するようにしてください。

◆詳しくは、緊急地震速報利用者協議会ホームページ(<http://www.eewrk.org/>)をご覧ください。

《避難場所・避難経路などの確認》

災害はいつ起こるか分かりません。日ごろから家族で話し合い、避難経路や集合場所・連絡方法などを決めておけば安心です。

※家族での話し合いのポイント

災害時の連絡方法や避難場所を確認しておく。
みんなで避難経路を歩き、危険箇所などを下見しておく。
予防対策・災害発生時の家族の役割分担を決めておく。
家の内外をチェックし危険箇所を確認し、修理や補強をしておく。

防災行政無線による緊急情報

防災行政無線で、平常時は行政情報を非常時には災害情報を、市内32カ所に設置された屋外拡声子局と約150台の個別受信機で全域にお知らせします。

地震や津波・洪水などの災害が発生した場合には、防災行政無線システムで、速やかに市民の皆さんに正確な情報を伝達し、2次災害などの被害を最小限に食い止めることができます。

放送が聞き取れなかったかた、もう一度聞きたいかたは、自動応答の電話をご利用ください。

防災行政無線緊急情報 ☎38-2630 《自動応答》



津波警報・注意報発表の基準

津波の恐ろしいところは、スピードがとても早いことです。海が深い場合、ジェット機並み(秒速約200m)の速さで進むこともあると言われています。

従って、注意報・警報が発表される前に津波がやってくることもあります。また、津波の高さは海岸の地形などにも大きく左右されます。さらに、津波は2波・3波と何度も繰り返し来襲します。必ずしも第1波が最大であるとは限らないので、津波警報が解除されるまでは、決して海岸に近づかないでください。

【大津波警報・津波警報・津波注意報】

- 大津波警報 予想される津波の高さが3m以上の場合に発表
- 津波警報 予想される津波の高さが1m以上3m未満の場合に発表
- 津波注意報 予想される津波の高さが0.5m程度の場合に発表

津波から身を守るために！

- 海岸や川から離れ、できるだけ遠くの高い所へ⇒間に合わない時は3階建て以上の鉄筋コンクリートの建物へ避難しましょう。(普段から避難場所を決めておきましょう)
- 車はやめ、歩いて避難⇒危険なので裸足で歩かない。(住宅密集地の狭い道路は通らない)
- 厚着をせず、両手はフリー⇒最悪の場合、水中に投げ出されることを想定しておく。
- 流されたら何かにつかまる⇒おぼれるより打撲傷がもて亡くなる人が多い。
- 津波見学は禁物⇒珍しいからといって、津波見物は絶対しない。
- 避難経路のチェック⇒仮に浸水してきても、素早く集合できる場所や、安全に移動できる道路を、町内会などで相談しながら決めておきましょう。

《災害時の避難所一覧》

■国道2号以北の避難所

施設名	収容人員(人)	所在地	問い合わせ
奥池集会所(土砂災害の場合は閉鎖)	30	奥池南町34番4号	☎32-0763
大阪ガス奥池ロッジ(土砂災害の場合のみ)	200	奥池南町47番16号	☎38-0771
山手中学校(体育館) (土砂災害時閉鎖/西山幼稚園・市民センターへ)	600	三条町39番10号	☎32-1122
西山幼稚園(遊戯室)	100	西山町22番15号	☎32-5457
前田集会所	100	前田町8番17号	☎23-3899
山手小学校(体育館)《救護所設置》	350	山手町8番3号	☎32-1113
大原集会所	100	大原町20番2号	☎38-7782
市民センター	500	業平町8番24号	☎31-4995
上宮川文化センター	400	上宮川町10番5号	☎22-9229
朝日ヶ丘小学校(体育館)	230	朝日ヶ丘町10番10号	☎32-1115
朝日ヶ丘集会所(土砂災害時は岩園小へ)	30	朝日ヶ丘町30番9号	☎23-4896
岩園小学校(体育館)《救護所設置》	320	岩園町23番41号	☎32-1114
芦屋大学附属中・高等学校	500	六麓荘町16番18号	☎31-0666
岩園保育所	50	岩園町2番18号	☎31-0335
翠ヶ丘集会所	30	翠ヶ丘町9番15号	☎22-2475
小計 15カ所	3,340		

*風水害当初開設避難所は、岩園小学校・市民センター・潮見小学校の3カ所

■津波発生時等の一時避難施設

施設名	所在地
陽光町県営住宅・共用部分(3階以上へ)	陽光町6番
陽光町市営住宅・共用部分(3階以上へ)	陽光町5番
藤和ライプタウン 芦屋呉川町ルミナス・共有部分(3階以上へ)	呉川町13番3号
ロイヤル芦屋松浜・共有部分(3階以上へ)	松浜町8番18号
芦屋パレスハイツ北館・共有部分(3階以上へ)	平田町2番7号
芦屋パレスハイツ南館・共有部分(3階以上へ)	平田町2番8号
芦屋サンプラザ・共有部分(3階以上へ)	平田町5番8号

*市内で津波が発生または発生する恐れがあるときの、一時的な避難所となります。

■国道2号以南の避難所

施設名	収容人員(人)	所在地	問い合わせ
精道小学校(体育館)《救護所設置》	350	精道町8番25号	☎32-1111
体育館・青少年センター	400	川西町15番3号	☎31-8228
茶屋集会所	30	茶屋之町8番20号	☎32-1232
竹園集会所	30	竹園町5番6号	☎22-2484
伊勢幼稚園(遊戯室)	100	伊勢町13番14号	☎31-8313
宮川小学校(体育館)	360	浜町1番9号	☎32-1112
【津波避難】宮川小学校(3階以上へ)	950		
県立芦屋高等学校(体育館)	600	精道町1番1号	☎32-2325
小槌幼稚園(遊戯室)	100	打出小槌町15番7号	☎22-4885
海技大学校	500	西蔵町12番24号	☎38-6201
保健福祉センター	200	呉川町14番9号	☎31-0612
打出浜小学校(体育館)	320	新浜町8番2号	☎23-4581
【津波避難】打出浜小学校(3階以上へ)	1,350		
精道中学校(体育館)《救護所設置》	330	南宮町9番7号	☎32-1121
【津波避難】精道中学校(3階以上へ)	1,150		
春日集会所	30	春日町13番17号	☎32-5377
浜風小学校(体育館)《救護所設置》	320	浜風町1番1号	☎23-4591
【津波避難】浜風小学校(3階以上へ)	360		
浜風幼稚園(遊戯室)	100	浜風町1番2号	☎31-1505
浜風集会所	30	浜風町3番2号	☎38-0960
新浜保育所	30	新浜町1番1号	☎32-0410
潮見小学校(体育館)	340	潮見町1番2号	☎34-0721
【津波避難】潮見小学校(3階以上へ)	200		
潮見中学校(体育館)《救護所設置》	450	潮見町20番1号	☎34-1601
【津波避難】潮見中学校(3階以上へ)	440		
潮見集会所	60	潮見町7番1号	☎32-4359
陽光町県営住宅集会所	30	陽光町6番8号	☎35-8015
陽光町市営住宅集会所	30	陽光町5番7号	☎38-2068
小計 22カ所	4,760		

*風水害当初開設避難所は、岩園小学校・市民センター・潮見小学校の3カ所